

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

正しい電気柵の設置ノウハウを地域全体で共有するとともに、サルの誘因となる地域全体の放任果樹（400本）を計画的に伐採、残した柿は柿もぎイベントとして地域活性化にも利活用。

やまかみちく 山上地区有害鳥獣対策協議会

（会長：我彦 正福）

よねざわし
山形県米沢市

主な取組

- 平成5年頃からニホンザルによる被害発生。平成17年に「山上地区有害鳥獣対策協議会」を設立し被害対策を実施。
- 平成26年度に外部アドバイザーの指導による正しい電気柵の設置手法を学び、成功体験を得る。
- 正しい電気柵の設置を地区全体のノウハウとして普及させるため、全員参加の仕組みなど自然に復習を促す仕組みとした。平成28年以降、住民が正しい電気柵設置の講師になるなど他地域への広域的な普及に尽力。
- 野生鳥獣の誘因原因となる地区内の400本以上の放任果樹（柿や栗）について、全て残す（収穫）、残さない（伐採）に選別し、約4割を伐採。収穫に選別した柿は、近隣の学生や学童と共同で柿もぎを行い、ドライフルーツに加工、高齢者施設等へ配布。柿もぎを通じた世代間交流、地域交流も行われ、地域の活性化に繋がっている。
- 子供から高齢者まで全住民を対象に、クイズやゲームも取り入れた獣害対策の学習会などを開催し理解醸成を図る。

【山上地区の農作物被害額】

平成26年度：約200万円 → 平成30年度：約90万円